

### 高齢化を見据えたまちづくりについて

松澤 武人 議員

○ 高齢者の居場所の現状について伺います。

○ 高齢者の居場所として、市が設定しているものは、社会福祉センターや、60歳以上の方を対象とした老人憩の家が8カ所、おむね65歳以上の方で、虚弱または外出の機会が少ない閉じこもりがちな方を対象とした談話室が14カ所、認知症の方やその家族などを対象としたオレンジカフェが3カ所あります。また、鎌ヶ谷市社会福祉協議会では、6エリアの地区社会福祉協議会でもなたでも利用できるサ

### 本市における行政のデジタル対応について

矢崎 悟 議員

○ 公民館やコミュニティセンターなどの公共施設は、市民の交流拠点であるほか、災害時には避難所となります。市民サービスの向上や災害時の情報収集の手段といった観点から公衆無線LAN環境の整備が必要と考えますが、見

○ 令和元年10月から、公衆無線LANによるインターネット接続サービスを、市庁舎1階など4カ所で開催しました。今後は、導入済み施設の利用状況や社会動向を注視しつつ、検討を進めていきます。

### 地域医療について

後関 俊一 議員

○ 医師会や歯科医師会と行政との連携について伺います。

○ 保健、福祉、教育等、各分野で市民の健康を保持増進するための事業等に協力いただいています。福祉分野では、地域包括ケアシステムの構築に向けアドバイスをいただいております。

○ 普段からかかりつけ医を持つことが市民の生命、財産を守るためにも大切と考えま

### 障がい者の自立支援に関する本市の現状と、今後の方針に関して

河内 一朗 議員

○ 障がい者の自立とはどのような状態を指していますか。

○ 本市の考える自立のあり方は、障がい者自身が主体的に選択し、決定できることと考えます。

○ 障がいをお持ちの方のそれぞれのニーズに応じた自立を支援するための本市の取り

○ ロンを開催しています。そのほか、ボランティアの方のみならず高齢者の方のためのカフェやサロンを開設されているところもあります。



オレンジカフェ

○ 防災行政無線が聞こえにくいとの声を多く聞く中で、災害情報を宅内で受信できる戸別受信機の導入が必要と考えますが、見解を伺います。

○ 現在進めている防災行政無線デジタル化事業の中で、検討を進めていきます。



Wi-Fi

○ 窓口や訪問時など、日々の業務の中で伺っています。また、令和2年度までを計画期間とする「第5期障がい福祉計画」策定の際は、障がいをお持ちの方の6団体にヒアリングを実施しています。



○ 障がいをお持ちの方からの情報収集の方法を伺います。



### 福祉タクシー利用券について

佐藤 剛 議員

○ 障がいをお持ちの方の社会活動の範囲を広げ、福祉の増進に資することを目的として、福祉タクシー利用券の交付を行っています。その消化率について伺います。

○ 平成28年度以降の3年間は25%台で推移しています。

○ 福祉タクシー利用券を利用しない方のために、自動車燃料費助成制度との選択制を導入している自治体があること聞いていますが、本市では検討していますか。

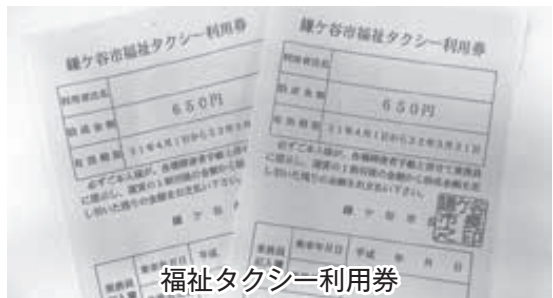
○ 自動車燃料助成制度は、障がいをお持ちの方のために使用する自家用車の燃料費の一部を助成するものです。市民の方から燃料費の助成についてのご意見もいただいています。

○ 新鎌ヶ谷駅から北初富駅間にある、東京10号線延伸新線の跡地は今後どのように活用されますか。

○ 両駅の連続性を向上させることにより、両地区がお互いを補完できるように、緑道として整備し、緑のネットワークを構築する予定です。

○ 新鎌ヶ谷駅からも近い一等地であるため、緑道事業は生かしつつ、商業施設を設けるなど一部用途を変更することは可能ですか。

○ 当該地は市街化調整区域であり、その立地の特性を生かし、両駅を結ぶことで、緑の基本計画で掲げた緑のネットワークの実現を目的に購入したものであるため、それ以外の用途とする考えはありません。



福祉タクシー利用券

### 東京10号線延伸新線跡地の土地活用

徳野 涼 議員

○ 小池橋児童遊園付近の今後の治水対策について見解を伺います。

○ 既存の排水施設の能力を十分発揮できるよう適切な清掃や点検等の管理、また大雨時のパトロールを行い、速やかな対応に取り組んでいきます。

○ 串崎新田地区及び下流の浸水被害を軽減するため、新たな貯留池を整備するべく、令和元年度に約1千900平方メートルの土地を購入しました。

○ 新たな貯留池の今後の整備予定を伺います。

○ 長きにわたり通学路の見守りを行っていた方を学校側で把握できていなかった事案がありました。このような状況に対する認識と今後の対応について伺います。

○ ボランティアとして活動してくださった方には感謝の意を表したいと考えています。



東京10号線延伸新線跡地

### 本市における「福祉行政」について

松原 美子 議員

○ 身寄りのない、ひとり暮らしの生活保護受給者が入院した場合、どのような支援をしていますか。

○ 退院の見込みがない等の場合は住まひの喪失の可能性もあるため、施設入所や転院等の支援を行うほか、危篤状態にある場合は扶養義務者への連絡を行っています。入院先等の関係機関とは情報を共有しながら、要保護者よりよい支援に努めています。

○ 在宅生活の継続が困難になった方に対しては、具体的に、どのような支援をしていますか。

○ 高齢者の自動車運転免許の自主返納を促進するためには、車を使わなくても大丈夫という環境づくりが大事だと思います。そこで交通費の心配もなく気軽に外に出かけられるよう、ききょう号や路線バスの無料乗車バスを発行することはできませんか。

○ ききょう号については、現在コミュニティバス運営検討委員会において、自主返納への優遇を含めた運賃等について、運行に係る経費や運賃収入の見込みなど、経営的な視点などを考慮して検討しているところですが、また、船橋新京成バスや京成グループのバス会社においでは、自主返納した70歳以上の方の運賃が半額になるノーカー・アシスト優待証による支援を行っています。



準備

### 表彰制度とまちづくりについて

宗川 洋一 議員

○ 今後他市の状況なども調査し研究していきます。

○ 表彰制度を市のまちづくりに活用していくことについて見解を伺います。

○ 令和3年は市制施行50周年を迎える節目の年になるので、より幅広く表彰制度を活かせるような方策を検討していきたいと考えています。

○ 表彰制度を市のまちづくりに活用していくことについて見解を伺います。



表彰状